



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 第一稀元素化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4082

URL <https://www.dkkk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 剛

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 松本 克己 (TEL) 06-6206-3311

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,835	△5.1	948	△27.5	897	△28.4	615	△25.4
2019年3月期第1四半期	7,202	18.3	1,308	5.3	1,253	7.5	825	6.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 634百万円(△14.4%) 2019年3月期第1四半期 741百万円(△6.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	25.43	—
2019年3月期第1四半期	34.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	46,035	27,681	60.0
2019年3月期	45,768	27,265	59.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 27,626百万円 2019年3月期 27,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	9.00	19.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,300	4.4	1,900	△15.3	1,900	△18.4	1,300	△18.4	53.69
通期	29,000	5.5	4,000	△5.2	4,000	△7.2	2,800	△9.5	115.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	24,400,000株	2019年3月期	24,400,000株
2020年3月期1Q	188,407株	2019年3月期	188,407株
2020年3月期1Q	24,211,593株	2019年3月期1Q	24,176,120株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)における世界経済は、米中貿易摩擦の激化が景気減速の懸念材料となり、先行きに対する不透明感が強くなっております。また、製造業を中心に企業マインドの低下により設備投資は弱含みや一部で先送りの動きが見られました。

当社グループの主要顧客であります自動車業界におきましては、ライトビークル市場(乗用車・小型商用車)において、中国の新車販売台数急減の影響を大きく受け、2019年前半の世界自動車販売台数は前年割れとなりました。米国においても前年割れとなりましたが、欧州では燃費試験方法変更に伴う混乱が収束しつつあり、中国での日系メーカーの回復や国内販売において新規モデル投入により堅調さが見られるなど、市場回復の兆しもありました。

これらの結果、販売数量は前年同期比で11.3%減少し、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,835百万円(前年同期比5.1%減、期首予算29,000百万円に対して進捗率23.6%)、営業利益は販売数量減による影響や販売費及び一般管理費の増加等により948百万円(前年同期比27.5%減、期首予算4,000百万円に対して進捗率23.7%)、経常利益は為替の影響等により897百万円(前年同期比28.4%減、期首予算4,000百万円に対して進捗率22.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は615百万円(前年同期比25.4%減、期首予算2,800百万円に対して進捗率22.0%)となりました。

用途別の販売状況は、次のとおりであります。

(触媒)

当社グループの主力製品である自動車排ガス浄化触媒用途向け製品は、各国の環境規制強化の影響を受け当社グループ製品への需要は高まっており、近年は自動車販売動向を上回る販売で推移しておりました。しかしながら、世界最大の自動車市場となった中国の販売不振等により世界自動車販売が急減したことに加え、顧客での在庫調整もあり、売上高は前年同期を下回る結果となりました。

これらの結果、触媒用途向け製品の当第1四半期連結累計期間の売上高は、4,163百万円(前年同期比12.1%減、期首予算17,437百万円に対して進捗率23.9%)となりました。

(ファインセラミックス)

高機能材料向け製品は、キッチンセラミックスなどの民生用セラミックスにおいて減少しましたが、欧州を中心に展開している歯科材料用途向け製品の販売が復調したことに加え、産業構造材用途向け製品が堅調に推移し、増加いたしました。また、当社グループの次世代の主力製品と期待しております燃料電池用途向け製品は、計画は下回ったものの、米国で同業界に対する補助金が再開したことなどの影響により増加いたしました。

これらの結果、ファインセラミックス用途向け製品の当第1四半期連結累計期間の売上高は、750百万円(前年同期比26.1%増、期首予算3,409百万円に対して進捗率22.0%)となりました。

(電子材料・酸素センサー)

電子材料用途向け製品は、圧電素子向け製品は堅調であったものの、中国経済の減速や、半導体市場低迷等による業界全体の生産調整を受けて、セラミックコンデンサ向け、副資材向け製品の販売は減少しました。一方で、二次電池材料向け製品は車載用や定置用の需要増加に伴い、増加しました。酸素センサー用途向け製品は、主要顧客向けが底堅く推移しました。

これらの結果、電子材料・酸素センサー用途向け製品の当第1四半期連結累計期間の売上高は、723百万円(前年同期比22.3%増、期首予算2,936百万円に対して進捗率24.6%)となりました。

(耐火物・ブレーキ材)

耐火物用途向け製品は、国内粗鋼生産悪化の影響を受け、売上高は減少しました。ブレーキ材用途向け製品は、自動車市場悪化の影響を受け、売上高は減少いたしました。

これらの結果、耐火物・ブレーキ材用途向け製品の当第1四半期連結累計期間の売上高は、680百万円(前年同期比10.8%減、期首予算3,153百万円に対して進捗率21.6%)となりました。

(その他)

アルミニウム配管のろう付に使用されるセシウムフラックスは、家電向けは堅調でありましたが、自動車向けが在庫調整等で伸び悩み、売上高は微減となりました。また、液物製品等の販売が堅調に推移し、その他用途向け製品の売上高は、前年同期比ではほぼ横ばいとなりました。

これらの結果、その他用途向け製品の当第1四半期連結累計期間の売上高は、518百万円（前年同期比0.4%増、期首予算2,063百万円に対して進捗率25.1%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は46,035百万円で、前連結会計年度末に比べ267百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加（445百万円）、製品の増加（496百万円）、建設仮勘定の増加（292百万円）、流動資産その他の減少（918百万円）によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は18,354百万円となり、前連結会計年度末に比べ149百万円減少しました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）の増加（1,531百万円）、未払法人税等の減少（430百万円）、流動負債その他の減少（989百万円）によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は27,681百万円で、前連結会計年度末に比べ416百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加（397百万円）によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は前連結会計年度末59.5%から60.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、2019年5月13日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,215,588	7,138,490
受取手形及び売掛金	5,197,166	5,643,129
有価証券	300,000	500,000
製品	4,209,383	4,705,461
仕掛品	2,740,381	2,693,740
原材料及び貯蔵品	4,143,308	3,860,829
その他	2,297,267	1,378,809
流動資産合計	26,103,095	25,920,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,206,375	3,249,138
機械装置及び運搬具(純額)	5,027,910	5,056,891
土地	1,752,062	1,752,062
建設仮勘定	3,285,828	3,578,471
その他(純額)	602,305	585,975
有形固定資産合計	13,874,482	14,222,539
無形固定資産	355,068	1,098,870
投資その他の資産	5,436,238	4,794,082
固定資産合計	19,665,790	20,115,493
資産合計	45,768,886	46,035,953
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,479,399	1,333,985
短期借入金	1,200,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	2,198,117	2,574,989
未払法人税等	692,844	262,147
賞与引当金	265,955	148,639
その他	3,492,699	2,502,915
流動負債合計	9,329,015	8,022,675
固定負債		
長期借入金	9,050,837	10,205,244
退職給付に係る負債	1,051	1,106
その他	122,767	125,205
固定負債合計	9,174,656	10,331,557
負債合計	18,503,672	18,354,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	787,100	787,100
資本剰余金	1,104,864	1,104,864
利益剰余金	25,114,615	25,512,529
自己株式	△70,089	△70,089
株主資本合計	26,936,490	27,334,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189,561	178,803
為替換算調整勘定	109,882	137,460
退職給付に係る調整累計額	△24,730	△24,288
その他の包括利益累計額合計	274,713	291,976
非支配株主持分	54,010	55,340
純資産合計	27,265,214	27,681,720
負債純資産合計	45,768,886	46,035,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	7,202,614	6,835,674
売上原価	4,892,436	4,785,305
売上総利益	2,310,178	2,050,368
販売費及び一般管理費	1,002,094	1,101,954
営業利益	1,308,083	948,413
営業外収益		
受取利息	6,795	14,636
受取配当金	8,140	12,452
助成金収入	10,337	4,224
その他	10,849	22,633
営業外収益合計	36,123	53,945
営業外費用		
支払利息	1,792	9,774
為替差損	63,032	91,377
持分法による投資損失	23,679	2,547
その他	2,400	1,484
営業外費用合計	90,904	105,183
経常利益	1,253,301	897,175
特別損失		
固定資産除却損	19,588	1,059
特別損失合計	19,588	1,059
税金等調整前四半期純利益	1,233,712	896,115
法人税、住民税及び事業税	293,805	240,595
法人税等調整額	114,104	39,412
法人税等合計	407,910	280,008
四半期純利益	825,802	616,107
非支配株主に帰属する四半期純利益	592	289
親会社株主に帰属する四半期純利益	825,209	615,817

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	825,802	616,107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,894	△10,758
為替換算調整勘定	△108,621	28,618
退職給付に係る調整額	2,942	442
持分法適用会社に対する持分相当額	△772	0
その他の包括利益合計	△84,556	18,302
四半期包括利益	741,245	634,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	741,860	633,080
非支配株主に係る四半期包括利益	△614	1,329

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

当該会計基準の適用の結果、当第1四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において、無形固定資産が759,734千円増加し、投資その他の資産が759,734千円減少しております。